

ティンクルなごや通信

ごあいさつ	1
各フロアからの報告	2-3
「新型コロナウイルス感染者対応から学ぶ感染管理」～オンライン研修報告～	4

名古屋市重症心身障害児者施設
ティンクルなごや
指定管理者 社会福祉法人むつみ福祉会
名古屋市北区平手町1丁目1番地の5
TEL: 052-916-0333

第 9 号
2021 年 1 月

良い習慣を日常に

院長 山下 伸子

新しい年を迎えました。緊張感を保ちつつ、できる限り明るい展望を持ってこの1年を過ごしていきたいと思います。

昨年は、日常的な心構え、習慣という点で、社会全体も、施設としても、多くのことを身につけた年であったと思います。

まずは「衛生意識の向上」、「健康意識の高まり」です。ティンクルなごやでも、これまでもスタッフの研修は繰り返し行ってきましたが、今年度の経験に勝るものはないと思います。どのような場面にリスクがあるかということを知る機会も多くなり、職種を超えて、健康状態の観察、正しい手洗い、消毒・換気の徹底、適正な湿度の管理など、これまで以上に意識を高めて行うことができるようになりました。

次に「報道への関心の高まり」です。毎日感染者数が報告され、現在、国や自治体、専門家はどのようなメッセージを発信しているのかを、常に確認するようになりました。施設内では、変化し続ける感染動向を見ながら、他の施設はどのような対応をしているのか、私達に教訓となる情報はないか、といったことにもアンテナを立て、月単位、週単位で、施設としての方針を検証しています。

ある調査の結果では「出費を抑える工夫が進んだ」というものもありました。当施設でも、限られた衛生材料の使い方、計画的な在庫管理、必要な対策を行うための有効な経費の使い方などを、今まで以上に考えるようになってきています。

「限られた状況でも行える工夫」は全国的に、様々な場面で行われています。当施設でも、日々の療育活動の工夫、オンライン面会、一堂に会さない方法でのハロウィンイベントの実施、動画配信を活用した研修など、今までとは違う方法での取り組みが進みました。面会制限も長期化するなか、ご家族へのお便りについても「協力依頼ばかりではなく、少しでも喜んでいただけるものにしたい」という声がスタッフから上がり、ホームページ上での近況報告の回数も増えました。

短期入所につきましては、昨年7月の再開以降、個室での対応とし、利用者数を制限しての受け入れを続けてきましたが、感染対策と両立させながら、どのようにニーズに対応していくか、方策を検討し続けました。

1日も早く事態が終息し、元の生活に戻りたいと願っているうちに、身についた良い習慣がたくさんあります。そしてそれらは、今後も継続していくべき取り組みばかりであることもわかります。

私達は大切な利用者さんをお預かりしています。私達は利用者さんをお守りし続けなければなりません。今年も基本に忠実に、力を合わせて前進していきたいと思います。

スタッフお手製の音楽療法

2階フロアには、障害の重症度の高い利用者さんが多くみえます。そんな利用者さんたちの五感を刺激するために毎日療育活動を行っています。今回はその中でも、利用者さんの反応がよく表れる音楽活動の紹介をします。

新型コロナウイルス流行前には、施設外部に依頼をして音楽療法や音楽コンサートを行っていましたが、現在は行うことができません。そこで、スタッフが立ち上がりました。その日に勤務するスタッフがそれぞれの楽器を持ち寄ります。ピアノ、鍵盤ハーモニカ、ウクレレ、さんしんなど。楽器を持つのは小学生の時以来だというスタッフ、音符が読めなくても弦楽器なら、と頑張るスタッフばかりです。

写真の様子は、ある利用者さんのお誕生日会です。換気をよくして、ソーシャルディスタンスを保ちながら、集合しました。「誕生日の歌」「幸せなら手をたたこう」「線路は続くよどこまでも」、クリスマスの歌などが演奏されました。

利用者さんの反応は様々です。あーうーと声を出して、満面の笑みで一緒に歌う方、わずかに動く右肘を小刻みに動かして喜びを表現される方。また、興奮して全身が震え呼吸が荒くなってしまう方もいます。嫌がる様子が見られないのも反応の一つです。部屋から出られない利用者さんには、出張して演奏サービスも行いました。反応を読み取ることが難しい方もいますが、きっと音楽は聞こえている、伝わっていると信じています。

小澤 亜希 (2階 看護師)



曲に合わせて歌ってくれる方



ウクレレの弦に触れてみる



オシャレをして音楽会に参加

冬のある日に CAFE 気分で

3階西フロアでは、新型コロナウイルスの影響で、唯一の外出となった施設の外周テラスでの外気浴と散歩が定番となっています。

そんな冬のある日、テラスで日に当たりながら、おやつのおレンジジュレとお茶をいただくことにしました。日の陰らない場所で、全員で一度に出られるほどのスペースではないため、利用者さんを3組に分けての実施になりました。利用者さん各自で毛布やタオル等の防寒対策をバッチリしてのCAFEタイムです。

この日は風もなく、まだ暖かみを感じられる日差しの下、全ての利用者さんが、普段とは違った屋外でのひとときを、美味しいゼリーとともに楽しめました！日差しが暖くなる頃には、もっと素敵な場所できるといいですね。

楯 善雄 (3階西 生活支援員)



男性利用者さん2人で、日光を浴びたこの表情！！とても気持ちよさそうですね。やはり日光浴は格別ですよ！と言わんばかりの素敵な表情をされていました。

「大玉転がし」と「ネズミのしっぽ取り」

3階東フロアでは、昨年から季節に合った日中活動に取り組んでいます。今回は11月下旬に開催した、運動会をご紹介します。

競技は「大玉転がし」と「ネズミのしっぽ取り（綱引き）」です。赤組・白組に分かれて対戦形式で行いました。大玉転がしでは、利用者さんがボールを触って転がし、次の利用者さんにバトンタッチをしてタイムを競います。ネズミのしっぽ取りは、新聞紙で作成した帽子に取り付けた長さ30～40cmの紐を、利用者さんに一対一で引っ張っていただき、先に取りられた方が負け、取った本数が多いチームの勝ちというルールで行いました。

眠そうな方や、別の場所をじっとご覧になっていた方も、競技が始まると真剣な眼差しになり、時には笑顔もあり、普段とは異なる活動を楽しんでいた

ご様子でした。

今はなかなか外に出ることは叶いませんが、このような時こそ行事を通じて季節を感じていただき、豊かな生活へつなげていきたいと考えています。今後も利用者の皆さんに楽しんでいただける、様々な日中活動を行っていきます。

三宅 紫蘭（3階東 生活支援員）



「やわらかい感触のこれは何？」



「似合うでしょ？」



「絶対負けない」「この紐は何？」



「絶対勝つぞ～！」



笑顔で食べられる利用者さん、眩しそうにされながら食べられる利用者さんです。普段はあまりおやつを召し上がらない利用者さんでしたが、外での飲食がとても嬉しかったのか、笑顔で全部召し上がっていました。やはり日光浴の力は凄いですね。



2人揃っての一枚です。2人ともあつという間におやつを召し上がってしまい、カメラマンが追いつきませんでしたので、お茶を飲まれている写真になってしまいました（すみません）。少し眩しそうにされていた利用者さんには、職員が陰になってのCAFEタイムでした。

オンライン
研修報告

新型コロナウイルス 感染者対応から学ぶ感染管理

今年度は、新型コロナウイルスの感染状況から、例年のように多くの方が参加する研修会は開催できないため、オンラインによる研修会を企画しました。

「新型コロナウイルス感染者対応から学ぶ感染管理」というテーマで、クルーズ船の感染者を受け入れた藤田医科大学岡崎医療センターから、感染防止対策の中心になって活躍された藤城弓子先生（感染管理認定看護師）をお招きして、お話をいただきました。

実際の研修は、2020年9月15日（火）14時から、ティンクルなごや多目的室で参加職員の人数を制限して行いました。手の洗い方、エプロンの着脱の手順などの実演を交えてわかりやすく説明していただきました。講師の先生の病院では、対応している職員で感染した人は出ていないという状況が大変心強く、感染対策の基本を正しく理解し、忠実に実行していくことの大切さを学びました。

この研修内容を録画編集したものをYouTubeで配信することにより、オンライン研修を実施しました。県内の関係施設等に

案内したところ、44団体から160人以上の視聴申し込みがありました。また、職員研修として、ティンクルなごやの全職員も視聴しました。

オンラインによる研修は、直接の講義のような臨場感は感じられませんが、動画ならではの見直し、聞き直しができるという利点があるように思います。それぞれの支援現場で、利用者さんを新型コロナウイルスから守るための感染対策を習得できることから、今回の研修は一定の役割を果たせたのではないかと思います。新しい生活様式が求められるなか、動画配信による研修の企画は私たちにとっても良い経験になりました。

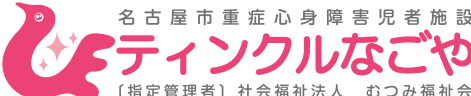
羽根 祥充（研修会担当）



■公共交通機関でお越しの方

- 栄より／市バス栄11系統「西部医療センター」又は「志賀公園前」下車
- 名古屋駅より／市バス名駅13系統「又穂住宅東」
／市バス名駅15系統「城見通二丁目」または「西部医療センター」下車

■お車でのお越しの方 「黒川」出口から約10分です。


 名古屋市重症心身障害児者施設 〒462-0057
 名古屋市北区平手町1丁目1番地の5
 TEL: 052-916-0333
 (指定管理者) 社会福祉法人 むつみ福祉会 FAX: 052-916-0338

ホームページでも、日々の生活の様子や職員メッセージを配信しています。ぜひご覧ください。

<http://twinkle-nagoya.com>

